

第132回 (令和5年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

会社名	商品名	日数	単価
中央食品	A	46	1,790
朝日旅行	B	39	2,380
太陽堂	C	30	1,920
西日本工業	D	41	1,640
今田電気	E	37	2,090
マルイ化学	F	35	2,170
夢ハウス	G	30	2,360
長谷川設計	H	34	1,620

<処理条件>

- <出力形式>のような請求額一覧表を作成しなさい。(――の部分には空白とする)
- 基本料金=単価×30
追加料金=単価×(日数-30)×1.2
請求額=基本料金+追加料金
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

請求額一覧表

会社名	商品名	日数	単価	基本料金	追加料金	請求額
合計	――		――			
平均	――		――			

第132回 (令和5年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	売上額	顧客数	利益額
101	宮前 清美	340,960	19	62,450
102	川上 恵太	309,640	15	55,260
103	高田 加奈	283,170	14	56,030
104	平塚 マイ	277,850	18	58,020
105	南 やまと	415,730	23	71,470
106	大久保 正	297,510	10	50,180
107	中原 大地	402,380	21	65,090
108	藤沢 優子	338,290	13	53,940
109	三浦 大樹	391,300	20	64,510

<評価表>

達成指数	評価
100以上	**
それ以外	*

<処理条件>

- <出力形式>のような社員別利益額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 顧客平均利益=利益額÷顧客数(整数未満切り上げ)
利益率=利益額÷売上額(%の小数第1位未満四捨五入の表示)
達成指数=顧客平均利益÷4,000×100(整数未満切り捨て)
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)・最小を求めなさい。
- 顧客平均利益の多い順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

社員別利益額一覧表

CO	社員名	売上額	顧客数	利益額	顧客平均利益	利益率	達成指数	評価

(途中省略)

――	合計				――	――	――	――
――	平均				――	――	――	――
――	最小				――	――	――	――

第132回 (令和5年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

取CO	取引先名	商CO	売上数
101	長谷川商会	13	392
102	秋山総業	14	330
103	A Yマート	12	273
104	安藤商店	11	410
105	久保田商事	15	367
106	山下食品	12	400
107	小野寺物産	14	315
108	さくらや	11	281
109	南海ストア	13	417

<商品テーブル>

商CO	商品名	定価
11	商品A	6,750
12	商品B	7,030
13	商品C	6,340
14	商品D	7,300
15	商品E	7,850

<割引率表>

売上額		割引率
250万以上		9.8%
200万以上	250万未満	8.6%
1以上	200万未満	7.4%

<評価表>

売上数	請求額		評価
410以下	かつ	230万以上	***
410以下	かつ	200万以上 230万未満	**
それ以外			*

<処理条件>

- <出力形式1>のような売上額一覧表を作成しなさい。(――の部分には空白とする)
- 商品名・定価は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 売価=定価×0.93(整数未満切り上げ)
売上額=売価×売上数
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような取引先別請求額一覧表を作成しなさい。(――の部分には空白とする)
- 売上数・売上額は売上額一覧表を表検索しなさい。
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=売上額×割引率(整数未満切り捨て)
請求額=売上額-割引額
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 売上数の降順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 取引先別請求額一覧表の売上額と評価のセル証明をしなさい。
- 取引先別請求額一覧表の請求額の値を取引先名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“請求額の構成比”、凡例は取引先名とし、％の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

売上額一覧表

取CO	取引先名	商CO	商品名	定価	売上数	売価	売上額
(途中省略)							
――	合計	――	――	――	――	――	――

<出力形式2>

取引先別請求額一覧表

取CO	取引先名	売上数	売上額	割引率	割引額	請求額	評価
(途中省略)							
――	合計	――	――	――	――	――	――

第132回 (令和5年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商CO	商品名	原価	仕入数
11	S商品	1,570	963
12	T商品	1,340	754
13	U商品	1,980	821
14	V商品	2,100	719

※<出力形式1>で使用する。

得CO	商CO	売上数
101	11	557
101	12	314
101	13	420
101	14	394
102	11	415
102	12	425
102	13	341
102	14	421
103	11	532
103	12	382
103	13	408
103	14	500

※<出力形式2>で使用する。

<手数料の計算式>

仕入数	手数料
800以上	仕入額×3.7%
それ以外	仕入額×3.1%

※手数料は整数未満切り上げ。

<得意先テーブル>

得CO	得意先名
101	松山商事
102	ヤマカ水産
103	土屋物産

<値引率表>

売上額	値引率
1以上 85万未満	3.4%
85万以上 95万未満	3.8%
95万以上	4.3%

<処理条件>

- <出力形式1>のような仕入データ表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 仕入額=原価×仕入数
- 手数料は<手数料の計算式>を参照し、求めなさい。
定価=(仕入額+手数料)÷仕入数×1.31 (10位未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような得意先別請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 得意先名、商品名はそれぞれ<得意先テーブル>、仕入データ表を参照しなさい。
- 売価=定価×0.8 ※定価は仕入データ表を参照する。
売上額=売価×売上数
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(%の小数第1位までの表示とする)
請求額=売上額×(1-値引率) (整数未満切り捨て)
- 売上数が500以上または請求額が90万以上に“**”、それ以外に“*”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 売上数の多い順に並べ替えなさい。
- 得意先別請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式3>の請求額を商品名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“請求額の構成比”、凡例は商品名とし、%の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

仕 入 デ ー タ 表

商CO	商品名	原価	仕入数	仕入額	手数料	定価
(途 中 省 略)						
——	合 計	——				——

<出力形式2>

得 意 先 別 請 求 額 一 覧 表

得CO	得意先名	商CO	商品名	売価	売上数	売上額	値引率	請求額	判定
(途 中 省 略)									
——	合 計	——	——	——			——		——

<出力形式3>

商品別集計表

商品名	売上数	請求額
S商品		
T商品		
U商品		
V商品		

第132回 (令和5年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

顧CO	商CO	売上数
X101	11	361
X101	12	507
X101	13	740
X101	14	925
X102	11	827
X102	12	830
X102	13	710
X102	14	570
Y101	11	432
Y101	12	634
Y101	13	791
Y101	14	876
Y102	11	756
Y102	12	700
Y102	13	378
Y102	14	808

<顧客テーブル>

顧CO	顧客名
X101	東海商事
X102	南部ストア
Y101	しまなみ
Y102	中央販売

<商品テーブル>

商CO	商品名	原価
11	商品A	958
12	商品B	867
13	商品C	1,053
14	商品D	628

<値引率テーブル>

区分	値引率
X	3.4%
Y	2.6%

※区分は顧COの左から1文字目とする。

<判定表>

売上数	利益額	判定
830未満 かつ 200,000以上		***
830未満 かつ 130,000以上 200,000未満		**
それ以外		*

<処理条件>

- <出力形式1>のような売上一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 顧客名、商品名はそれぞれ<顧客テーブル>、<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価=原価×1.33(10位未満切り上げ) ※原価は<商品テーブル>を参照する。
売上額=定価×売上数
- 値引率は、売上数が700以下の場合には1.9%とし、それ以外は<値引率テーブル>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
値引額=売上額×値引率(10位未満四捨五入)
請求額=売上額-値引額
利益額=請求額-原価×売上数 ※原価は<商品テーブル>を参照する。
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、売上数が700以上で売上額が100万以下を抽出しなさい。
表題は“売上一覧表(売上数700以上・売上額100万円以下)”とし、売上数の昇順にソートしなさい。
- 売上一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 売上一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の利益額を商品名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“利益額の構成比”、凡例は商品名とし、％の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

売 上 一 覧 表

顧CO	顧客名	商CO	商品名	定価	売上数	売上額	値引率	値引額	請求額	利益額	判定
(途 中 省 略)											
――	合 計	――	――	――			――				――

<出力形式2>

商品別集計表

商品名	売上数	売上額	利益額
商品A			
商品B			
商品C			
商品D			

<出力形式3>

売上数が500より少ない請求額の合計	
顧客名が南部ストア以外で値引額が2万円以下の件数	
定価が1,000円未満または売上額が100万円以上の利益額の平均	

第132回（令和5年2月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問題

<入力データ> (各36件) ※テキストデータはSPSフォルダー内のデータを使用する。

[上期]

商CO	委CO	委託数	販売数
11	101	518	494
11	102	449	446
11	103	454	420
11	104	551	466
12	101	479	415

: : : :

32	104	476	455
33	101	529	469
33	102	479	425
33	103	435	432
33	104	580	574

[下期]

商CO	委CO	委託数	販売数
11	101	449	404
11	102	518	469
11	103	570	482
11	104	492	487
12	101	521	465

: : : :

32	104	445	420
33	101	528	457
33	102	437	415
33	103	564	563
33	104	499	467

<商品テーブル> [テーブル]

商CO	商品名	原価
11	A商品	520
12	B商品	570
13	C商品	620
21	D商品	760
22	E商品	840
23	F商品	870
31	G商品	940
32	H商品	960
33	I商品	990

<委託先テーブル> [テーブル]

委CO	委託先名	手数料率	目標数
101	青山商事	11.7%	8,210
102	加藤総業	12.3%	8,300
103	さつま堂	11.4%	7,880
104	田中企画	10.9%	8,370

<利益率表> [テーブル]

委託数	商COの下1桁		
	1	2	3
1 ~ 449	32.5%	32.0%	31.5%
450 ~ 499	30.0%	29.5%	29.0%
500 ~ 549	27.5%	27.0%	26.5%
550 ~	25.0%	24.5%	24.0%

<処理条件>

1. <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)、<商品テーブル>、<委託先テーブル>、<利益率表>を使用し、<出力形式1>のような表をそれぞれのシートに作成。

<出力形式1> [上期] ・ [下期]

商CO	商品名	委CO	委託先名	委託数	販売数	売価	販売額	手数料
(途 中 省 略)								
	合 計							

- 1) 商品名、委託先名はそれぞれ<商品テーブル>、<委託先テーブル>を表検索。
- 2) 売価 = 原価 × (1 + 利益率) (整数未満切り上げ)
 販売額 = 売価 × 販売数
 手数料 = 販売額 × 手数料率 (100位未満四捨五入)

2. <出力形式1>、<委託先テーブル>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> [計算表]

委託先別計算表

委託先名	上期				下期				全期				返品数	判定	達成率
	委託数	販売数	販売額	手数料	委託数	販売数	販売額	手数料	委託数	販売数	販売額	手数料			
(途中省略)															
合計															

- 1) 上期・下期の各委託数・販売数・販売額・手数料は、基表の同項目の値を集計。
- 2) 全期の委託数・販売数・販売額・手数料は、本表の上期・下期の同項目の値を合算。
- 3) 返品数＝全期の委託数－全期の販売数
- 4) 判定は<判定表>を参照し求める。

<判定表>

返品数	全期の手数料	判定
770以下	かつ 全期の手数料の平均以上	Y
それ以外		N

- 5) 達成率 = $\frac{\text{全期の販売数}}{\text{<委託先テーブル>の目標数}}$ (%の小数第1位未満切り上げ)
- 6) 達成率の降順に並べ替える。

3. <出力形式2>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、委託先名別の全期の販売数を折れ線、全期の販売額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

